

令和8年度第4回函館方面八雲警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和8年3月6日（金）午後1時30分から同日午後2時15分までの間

2 開催場所

八雲警察署 署長室

3 出席者

(1) 委員 7人（定員7人）

ア 会長 伊藤義親

イ 委員 服部由美子、飯田浩、三田智康、竹村正美、高橋久美子、石原諭

(2) 警察署 6人

ア 署長 横田 剛士

イ 副署長 近藤 雅裕

ウ 刑生課長 山中 隆司

エ 地域課長 水谷 篤史

オ 交通課長 高井 雅樹

カ 警務係長 (庶務担当)

4 報告事項

- (1) 警察官採用試験募集
- (2) 刑法犯認知・検挙状況、特殊詐欺認知状況等
- (3) 特殊詐欺等関係
- (4) 交通事故関係

5 令和7年第3回協議会における意見への対応結果

【前回の協議会における意見】

敷地内に無断で侵入して、ごみを捨てる人がいるので、警察で注意等をしてほしい。

【対応状況（地域課長）】

八雲町役場に働き掛け、今年の1月21日に警告看板を設置した。

6 委員の主な要望・意見等

委員～ 社長の名前を語る詐欺が町内で発生しているが、これに対する警察の対策を教えてください。

署説明～ 本年1月から全道的に発生しており、当署においても防犯メール等による注意喚起に努めている。

委員～ 不在世帯や空き家に関する情報がSNSに投稿されており、このままでは空き巣等の被害が懸念されるが、これに対する警察の対策を教えてください。

署説明～ 不在時に戸締りをしない住民が多いことから、平素から巡回連絡等を通じて不在時における確実な施錠を呼びかけるなど、空き巣被害の防止に努めている。

委員～ 今後、外国人と地域住民の絆を深めるため、交流会等を行う予定であるが、これにより犯罪が増えた事例はあるか。

署説明～ 警察では、従来から技能実習生等を管理する企業等と連携して、外国人に対する防犯や交通安全に関する指導等を行っており、これまでのところ外国人に係る犯罪の発生は少ない。

今後も引き続き、文化の違いや習慣等を相互に理解した上で、地域ぐるみで交流を深めていく必要があると思われる。

委員～ 敷地内で発生した車両と人の接触事故等は、交通事故になるのか。

署説明～ 一般的には、発生場所の如何を問わず、車両等の交通によって人の死傷や物の損壊を生じさせれば交通事故となる。

委員～ 信号機の撤去の基準について教えてください。

署員～ 交通量や交通事故の発生状況等を調査し、撤去の必要性が認められた場合は町内会の同意等を得た上で撤去している。

委員～ 道道八雲北檜山線にある押しボタン信号機の交差点は、冬期間になると、雪山が高く視界が悪いため、定周期の信号機に変更できないか。

署員～ 現状では定周期への変更は困難と思われる。

今後、道路管理者と協議してカーブミラー等の設置も検討していきたい。

7 次回の開催予定

令和8年6月頃に開催予定

以 上